

人間学群の配点 (一般選抜入試 前期日程)

当初	共通テスト (500点)	配点合計 (1050点)
	2次試験 (500点)	
集団面接か集団討論 (50点)		
▼		
変更後	共通テスト (500点)	配点合計 (1000点)
	2次試験 (500点)	
集団面接か集団討論→実施せず		

(筑波大の資料を基に作成)

人間学群の一般選抜では、21年度入試から集団面接や集団討論を課す予定だったが、感染防止をしながらの実施は困難なため、21年度入試では文部科学省が今年6月19日、

21年度入試

出題範囲・科目変更せず

2次試験には「補足事項」も

筑波大は7月31日、2021年度入学者選抜要項を発表した。新型コロナウイルスの感染拡大で受験生の学習遅れが懸念されているが、大学共通テストの科目数や2次試験の出題範囲は変更しない。ただし、2次試験では、必要に応じて設問中に補足事項を記載するなどの配慮をする。また、新型コロナウイルスへの感染など、2次試験が受けられなかった受験生については、救済措置として3月22日に追試を実施する。

(廣間菜月 比較文化学類2年、西村大祐)

人間学群の一般選抜では、21年度入試から集団面接や集団討論を課す予定だったが、感染防止をしながらの実施は困難なため、21年度入試では文部科学省が今年6月19日、

2次試験の出題範囲などは、各大学が自らのアド

各大学に、①共通テストで高校3年で履修することが多い地理歴史、公民、理科の2科目活用を1科目に減らす②(学習進度に配慮し)2次試験で受験生が問題を選択できるようにする③(学習指導要領に示していない)発展的な学習内容は出題しない④発展的内容から出題する場合は設問中に補足事項を記載するなどの対応を求めている。

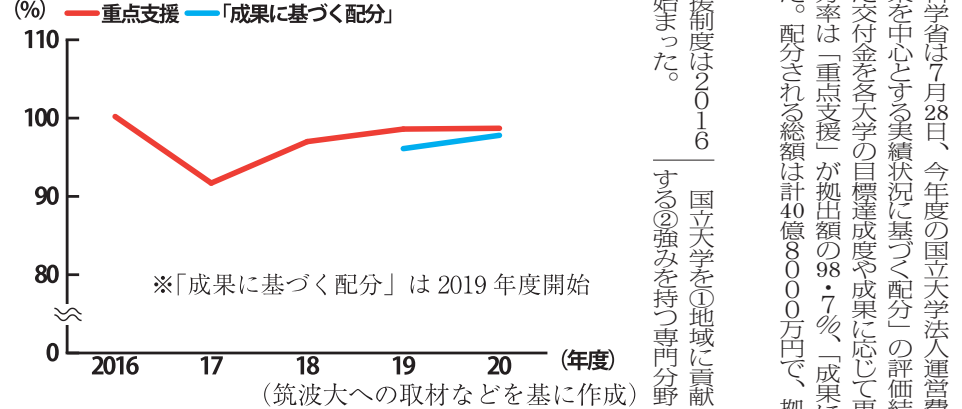
これに対し、国立大学協会(国大協・東京都千代田区)は7月13日、21年度入試の実施要領を発表。共通テストは5教科7科目を課す原則を維持し、2次試験の追試を行うよう各大学に求めた。

2次試験の出題範囲などは、各大学が自らのアド

再配分で8200万円減

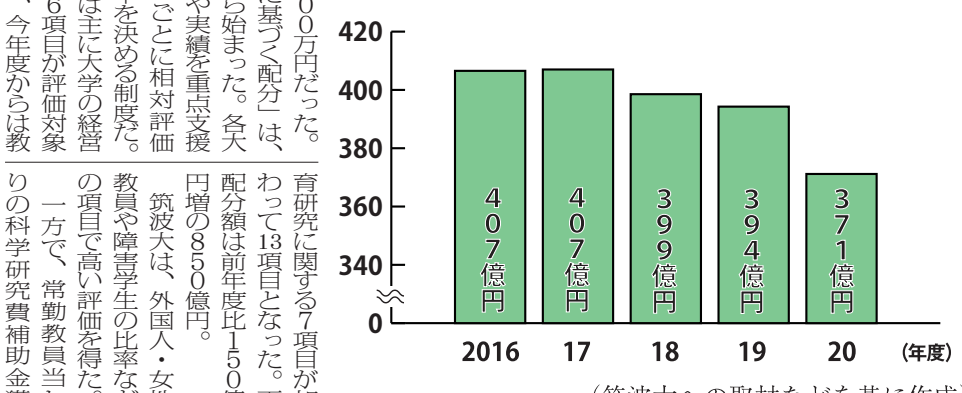
運営費交付金 筑波大 拠出額を下回る

筑波大の運営費交付金の配分率 (政府評価による再配分)



文部科学省は7月28日、今年度の国立大学法人運営費交付金のうち、「重点支援」と「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の評価結果を公表した。各大学に拠出した交付金を各大学の目標達成度や成果に応じて再配分する制度で、筑波大への再配分率は「重点支援」が拠出額の98.7%、「成果に基づく配分」が同97.8%とされた。配分される総額は計40億8000万円、拠出額比82.00万円減だった。

筑波大に配分された運営費交付金 (当初予算)



得額や大学施設の維持管理などの項目は評価が振るわず、再配分額は拠出額比7000万円減の31億7000万円にとどまった。

この結果、筑波大の運営費交付金は371億円となった。大学の事業の一部が終了したなどの影響で、前年度に比べ23億円減った。筑波大全体の20年度予算は1055億円。

政府評価による今年度の運営費交付金の再配分率は1100億円、交付金総額(1兆807億円、前年度比164億円減)の約1割を占めている。

運営費交付金の再配分に、運営費交付金の再配分に、配分率は前年度比150億円増の850億円。

筑波大は、外国人・女性教員や障害学生の比率などが項目で高い評価を得た。一方で、常勤教員当たりの科学研究費補助金獲得額は、前年度より減少した。

秋季スポーツ・デー中止

新型コロナで春に続き

に開催予定だった。スポーツ・デー学生委員会は第44回春季スポーツ・デーの中止決定後、秋の開催に向け、企画や新入生委員の受け入れ態勢の準備を進めてきた。

しかし、新型コロナ終息の予測がつかず、開催のために作成する実行計画書を短期間で準備することが難しいことから、9月14日に大学側に中止したい意向を伝えていた。

学生委員の寺嶋仁志委員長(数学3年)は「開催できないショックは大きい。筑波大生にスポーツを楽しむ機会を提供できず申し訳ない。来年度以降に開催できるように学生委員は日々精進していく」と語った。

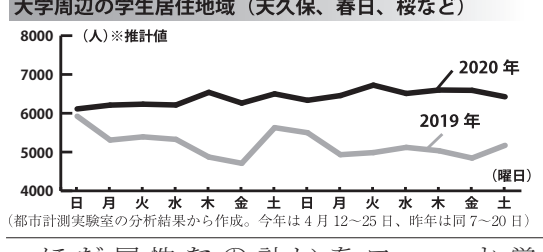
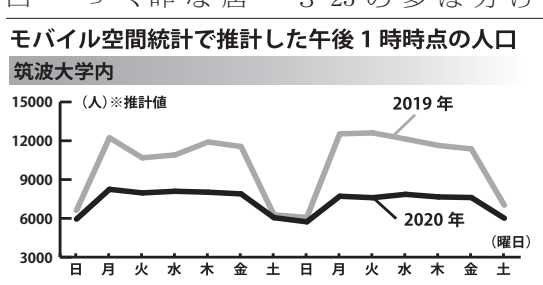
学生委員は今後、次期実行部を決めるとともに、来年度の活動を担う1年生委員を募る予定だという。

(西村大祐)

所在人口最大4割減

今年4月の学内

緊急事態宣言期間を含む今年4月12～25日に筑波大学構内にいた人の数(所在人口)が昨年の同時期に比べて最大約4割減っていたことが分かった。NTTドコモの「モバイル空間統計」をシステム情報系社会工学部の都市計測実験室が分析した。一方、大学周辺の学生居住地域の所在人口は昨年より最大で約3割増えた。同室の大澤義明教授(シス情報)は「多くの筑波大生が大学近辺でスティーホームで暮らしている」と話した。



分析対象期間は4月第2月曜日の前日から2週間。毎日、午後1時時点における対象地域の所在人口を分析した。学内の所在人口は通常、この時間帯が最も多い。期間中、平日の学内の所在人口は昨年同期比で25%減少した。土日は3%減少にとどまった。

一方、筑波大生が多く居住する天久保や春日、桜などの大学周辺地域では、昨年比で平日は16%増、土日は3%増となった。つばは駅周辺の所在人口も減少がみられた。

4月12～25日で、平日1時間ごとの平均値を算出したところ、昨年同期比で20%減少した。平日の学内人口は、午前6時～午後4時が昨年比約1割減にとどまる一方、土日は昨年比6～45%減少した。休日(土曜)は、午前6時～午後4時の減少幅が最大となった。

同期間の土浦駅周辺の平日1時間ごとの平均値は、午前6時～午後4時の減少幅が最大となった。在宅勤務などの影響も受けにくかった。一方で、飲食業の休業や時短営業で夜間の出入は大幅減となったと語った。

(木村誠二 人文学類4年)

モバイル空間統計はドコモの携帯電話の台数情報を利用し、500四方メートルの範囲で人口を推計する技術。1時間当たりの台数に、ドコモの普及率などを加味して推計する。性別や年齢、居住地などの属性分布も推定できる。ただし、統計対象は15～79歳に限られる。

来年度 土曜授業せず

学生らの負担配慮

筑波大は8月7日、来年度は土曜授業を行わないと発表した。春学期の開始時期は例年通りで、来夏に延期された東京五輪・パラリンピックの大会期間中も授業をする。

清水諭副学長(教育担当)は、「今年度の春学期に土曜授業を8回実施したが、学生や教員が休む時間を取れず、心身に負担が生じた。2年連続で土曜授業を実施することは難しいと判断した」と語った。新型コロナウイルスの終息が見込めず、五輪・パラリンピックが開催できるか不透明なことも理由に挙げた。

五輪やパラリンピックに出場する選手やボランティアの学生には補講やレポート提出などの特別措置を講ずることなどで単位を与える方針だという。

(西村大祐)

春日エリアに宿泊施設開所

来訪者向け 1階にはレストランも併設



運用が始まったグローバルゲストハウス (9月1日、春日エリアで)

春日エリアで建設中だった宿泊施設「グローバルゲストハウス」の運用が9月1日に始まった。筑波大に来訪する国内外の研究者や教職員向けの施設で、1カ月未満の宿泊者が対象のゲストハウス(22室、延べ825平方メートル)と、1カ月以上1年以内の宿泊者が対象のマンスリーゲストハウス(28室、延べ995平方メートル)の2棟からなる。老朽化した学内の宿泊施設の代替施設として、昨年2月に工事が始まった。

また、車椅子利用者が使いやすいように大きな浴槽や電動ベッドを備えた部屋がゲストハウスに1部屋、マンスリーゲストハウスに2部屋用意された。料金はゲストハウスが1泊4700円、マンスリーゲストハウスが1カ月67000円。マンスリーゲストハウスは光熱費とインターネット使用料が別途かかる。ゲストハウスの利用は1カ月前から前日までにネットか電話(080・92063004)で予約する。マンスリーゲストハウスは施設部への申請書類提出が必要だ。ゲストハウス1階にはイ

造り地上3階建て。各部屋には机やユニットバス、ミニキッチンがあり、マンスリーゲストハウスには大きなクロゼットや冷蔵庫、電子レンジも設置された。

芸術専門学群 秋に对面170科目

「オンラインでは機材不十分」

【一面参照】芸術専門学群は秋学期開設の170科目を対面で開催予定だ。これには春学期に移した10科目を含まない。13科目は実技が中心の授業だ。7科目では履修者が教室の上限人数を超える恐れがあり、教室を追加・変更した。一方、共通科目の4科目は、実技授業だが、対面からオンラインに変更された。新型コロナウイルスの感染拡大で、筑波大は春学期の授業をオンラインで実施する。6月19日までは学生の入構を原則禁止していた。芸術専門学群の実技授業もオンラインとなり、開講しなかった科目も多い。体育芸術エリア支援室の担当者によると、芸術専門学群は春学期に開講予定だった103科目の実技授業のうち、61科目をオンラインで実施し、残りの42科目は開講を見合わせた。同専門学群の学生たちは春学期を前向きに受け止めることも、秋学期への期待も高めている。

筑波大の永田泰介学長は9月1日の開所式で「つくば駅に比較的近く料理店もあるゲストハウスで、研究

者同士の交流が深まることを期待している」と話した。(田所涼二教育学類3年写真も。12面に関連写真)

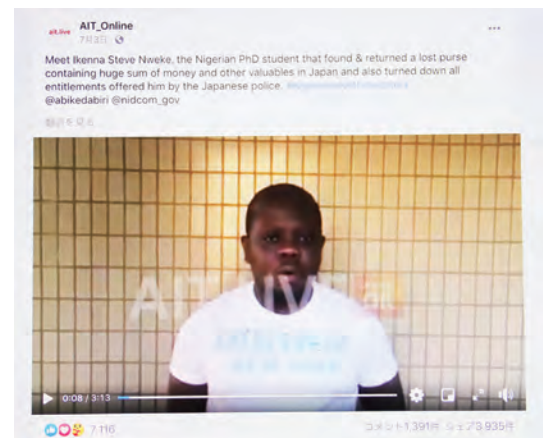
条件付きで課外活動再開

活動申請 断念する団体も

筑波大は7月22日、「課外活動制限下(自粛期間中)における活動再開に関する申し合わせ」を発表し、条件付きで課外活動を認めた。再開を受け、陸上競技部や硬式野球部など運動系団体を中心に活動が再開している。学生のキャリア向上や社会貢献につながる大会、ボランティア活動に参加する機会など、主催団体が国の指針などに沿った新型コロナウイルス対策をとっていることが条件となる。学生団体は、大会やイベントごとに活動概要や主催者、団体が行う安全対策などの資料を添えて大学に申請し、許可を得る。顧問教員の付き添いも必要だ。学生生活課によると、9月23日までに、運動系学生団体が提出した52件の申請と文化系学生団体の申請1件の計53件が許可された。却下された申請はこれまでにないという。だが、大会やイベントなどの開催が未定で、活動が再開できていない学内の学生団体は多い。また、大会の開催は決まっても、顧問が付き添えず申請を断念したケースもある。筑波大では4月9日に学生担当副学長名で、課外活動の自粛要請が出された。体育センターによると、自粛要請以前に体育施設を利用していた学生団体は約100あったが、現在は約35団体にとどまる。体育施設は現在、顧問の立ち会いがなければ使用できない。感染防止のため更衣室とシャワー室の利用も認められていない。学生生活課は「他大学で集団感染が発生する事態も起きている。感染状況を見極めつつ、課外活動の形態を随時見直す」と話した。(北川瑠菜二比較文化学類2年、加藤優花二国際総合学類3年)

小さな善意が母国の称賛呼ぶ

ナイジェリア人留学生ウエケさん



「いいね!」が7000件を超えた現地メディアの投稿 (9月17日、本紙編集室で) = 西村大祐撮影

「あなたを誇りに思う」「真のナイジェリア大使だ」。拾った財布を交番に届け、落とし主に無事戻った。ナイジェリア人留学生の小さな善意が善行がソーシャルネットワーク・サービス(SNS)を通じて母国で話題となり、大統領からも称賛されるなど、大きな反響を呼んでいる。話題の主はナイジェリアから筑波大に留学中のイケンナ・ウエケさん(国日後期1年)。

来日したのは2013年。文部科学省の奨学金に応募したことがきっかけ。もともと忍者映画が好きなど、日本の文化に興味を持っていた。また、治安が良く、集中して勉強ができる環境が整っていると考へ、日本への留学を決めた。筑波大では、Instagram過激派の武装勢力「ボコ・ハラム」を研究している。

SNSで反響相次ぐ

ウエケさんが財布を拾ったのは、大学から帰宅途中だった6月19日午後7時ごろ。つくばセンターの広場でケバブを買って帰ろうと階段を上りかけ、何かが落ちていたことに気づいた。迷彩柄の財布だった。現金約10万円以上のほか、クレジットカードや運転免許証が入っていた。すぐに近くの交番に届けた。警察官に、持ち主から報奨金を受け取れると説明を受けたが、「私はクリスチャンで、きちんとした家庭で育った。財布を届けるのは当たり前のことと断った。財布は後日、持ち主に無

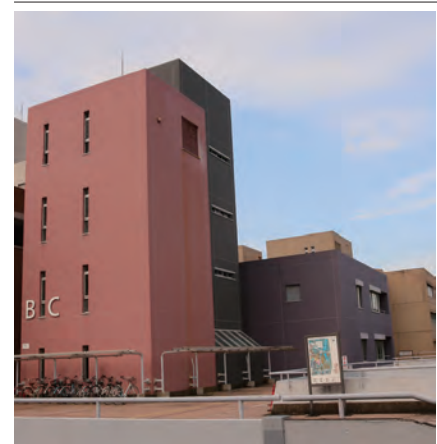
事、引き渡された。財布を届けた当時、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイでナイジェリア人が詐欺容疑で逮捕される事件があった。ウエケさんは「そのような人はほずかだと世界に伝えたい」と考え、自身のSNSアカウントで今回の経緯を投稿した。これを知ったナイジェリアのメディアが「#NigeriaNotFraudsters(ナイジェリア人は詐欺師ではない)」というハッシュタグを付けてSNSで紹介。ウエケさんは「大統領から称賛され、とてもうれし

このメディアによれば、同国のアハリ大統領は7月4日、「誠実さと清廉さの価値を示した」とウエケさんを称賛する声明を発表したという。ウエケさんは「大統領から称賛され、とてもうれし

人文・社会学 対面授業1割強

1B・1C棟改修工事も影響

【一面参照】1B棟と1C棟の耐震改修工事の影響で、人文学類と社会学類の対面授業の実施割合は1割強にとどまった。筑波大は、この2棟が工事中でも第一エリア内の1E棟などを活用することで、人文学類の授業用教室は確保できると見通した。だが、秋学期の対面授業では、感染防止のため教室には定員の約3分の1しか入れないことになった。第一エリアで最も大きい1H棟101と201(定員各354人)教室でも90人し



耐震改修工事を実施している1B・1C棟 (9月17日、第一エリアで) = 西村大祐撮影

か収容できない。現状では人文、社会の2学類が優先して使える施設は1H棟と共同利用棟Aだけだ。1E棟などは物理学類や化学類が優先して教室を使うため、当初の計画が白紙に戻った。また、対面授業とする場合、受けられない学生向けにオンラインで同時配信したり、オンデマンドで録画を公開したりする必要もある。実施条件が厳しくなる。このため、人文学類は秋学期の授業を基本はオンラインとし、対面でない高い教育効果が得られない授業に限り対面実施とした。人文学類長の三宅裕教授(人文学)は「改修工事と感染防止で教室が確保できず、オンラインを原則として、学生が対面授業を受けたい場所の確保も難しく、対面を教員に推奨できなかった」と語った。人文学類が教員に実施した調査では、演習科目を中心に36科目が対面での実施を希望したが、最終的に29科目が対面授業となった。人文学類の秋学期開設科目の13.2%にあたる。社会学類でもオンラインを原則とした上で、演習を中心に秋学期開設の13科目が対面実施を希望した。人文社会エリア支援室の担当者によると、全科目で教室を確保することができた。社会学類の秋学期開設科目の13.7%にあたる。(西村大祐、後藤佳佳)

記者の声



西村大祐

オンライン授業 学習効果向上へ特性生かせ 大学教育改革の新たな契機

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、全国の大学でオンライン授業が行われている。筑波大でも、春学期の授業はオンラインでの実施が原則だった。秋学期は対面授業が一部再開したが、将来的にオンライン授業がなくなることはないだろう。時間が場所にとらわれないという利点があるが、一方で、授業の質が落ちる可能性がある。超えて、幅広い授業が選択できることが大きな特色だ。基本的には所属に関わらず、他学類の授業を自由に受けられる。この半年間で分かったからだ。オンライン授業をどう位置付けるかは、ポストコロナの大学の在り方にも直結する問題だ。

筑波時評

我々の住む社会は目にも見えぬウイルスによって一変させられた。一方、同じく目に見えぬ我々の心の在り方もまた大きく変容している。感染症を持つ人への偏見や誹謗は著しく、各自治体が配慮を促す呼びかけを行い、専門の相談窓口を設けるを得ないほどにまで激化している。

新型コロナと差別

こうした攻撃性の発露は何故生じるのか。心理学では、あらゆる不快な感情は思考を攻撃的な方向に誘導し、攻撃行動を動機づけることが示されてきた。また、我々がこの世界に対して「公正であるべきだ」という信念を強く抱く人ほど、事件や事故の中で理不尽に被害にあった人を非難しやすいことが示されてきた。

被害者を追い詰める正義感

この信念を強く抱く人ほど、事件や事故の中で理不尽に被害にあった人を非難しやすいことが示されてきた。こうした正義感が被害者を追いつめるメカニズムは次のように説明されている。「悪いことをしていないのに、それでも被害に遭った」という事実をそのまま受け入れてしまつた、「こ

色眼鏡を外し社会見つめて

だ。私自身、同じ制限を受けた授業が複数あり、決断を迫られたことが何度かある。だが、オンデマンド型であれば、今後、時間割にとらわれない形で授業を開講するような制度設計も可能だ。また、オンデマンド型か、同対面でないか学生の反応が分かっていく、授業がしつらいと

を越えて、海外の大学の授業を受けられるようになる。オンライン留学も容易になり、海外の教育研究に触れる学生の裾野も拡大していくだろう。もちろん、オンライン授業にはデメリットもある。対面でないか学生の反応が分かっていく、授業がしつらいと

で、眼精疲労に悩まされた。実験や実習の授業が対面中心になるのは当然だろう。だが、対面授業を中心とする場合でも、オンライン授業の活用には意義がある。例えば、教員が出張などで対面授業ができない場合、事前に収録した授業を学生に視聴させることで授業数が確保できる。また、事前にオンデマンド型の授業を受講し、対面で議論や討論をする「反転授業」もオンラインを効果的に取り入れた授業手法だ。オンライン授業を補助的に使うことで、対面授業の教育的効果も向上させられるのではないかと。

清水諭副学長(教育担当)は本紙の取材に対し「オンライン授業は教育改革の契機になる」と語った。オンライン授業の在り方次第で、今後の大学教育は根底から変わるはずだ。(筑波大学新聞編集長 人文学類3年)

反射金

特別定額給付金の使い道

新型コロナウイルスに対する緊急経済対策として政府は国民に一律10万円を支給する特別定額給付金事業を実施した。筑波大生は10万円をどう使ったのか。オンライン会議システムを利用して聞いた。(西村大祐 人文学類3年、後藤佳伶 社会学類3年、加藤優花 国際総合学類3年)

【情報P前期1年・女性】 3人分の給付金のほとんどタブレット端末「iPad」を購入に充てた。給付d Proを買った。絵金は自分のために使った。描くことが好きで、以前なかったが、両親に言い出せから、あったら便利だと思った。手元に残った思っていた。大学構内が立9000円で洋服を買った。入禁止となり、オンライン授業に対応できる環境も整うと考へ、購入に踏み切った。

【社会学1年・男性】 10年間使っていた実家の冷蔵庫を買った。家族定だったTOEICが中止

となり、TOEFLも受験することにした。受験料が約2万5000円と高額だったのを助かった。また、27枚の外付ディスプレイも購入した。給付を受付金全てを使って「レニ全集」「マルクス・エンゲルス全集」など4種類のシリーズ本を計150冊ほど買った。新本は高価なため、古本を購入した。

【社会学3年・男性】 5万円はコンサルト系企業の就職活動対策セミナーに使った。大金を払ったからには頑張らざるを得ず、結果的に知識や人脈が得られたので良かった。残りの5万円は、筋トレトレーニング用のベンチプレスと、読みたかった経済学や検定教材の劣化が判明した。希望する企業から内定が出たら飲むと、6万円を出た。8月下旬に無事内定が出たため、お祝い一杯飲んだ。これからも、何か良いことがあった時に飲む特別なお酒として、大事にとっておきたい。

がくひ【学費】《名》石の広場に隣接し、第二エリアと第三エリアに挟まれた場所にある噴水▽噴水の維持費に大に、授業料などの学費が噴水の維持費に使われているのではないかと推測する文脈で使われる。

【社会学3年・男性】 政治学に関する本を購入した。大金が手元にあったことで、普段よりも思い切って買い物ができた。

【社会学3年・男性】 新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が増えたので、新しいことを始めたいと思いい、ディスクジョッキー(DJ)コントローラーを買った。DJに興味を持ってたきっかけは、去年初めて参加したクラブイベントだ。今はクラブに直接集まることはできないが、オンラインのイベントが増えたので、自宅で趣味を楽しめている。

【社会学4年・男性】 希望する企業から内定が出たら飲むと、6万円を出た。8月下旬に無事内定が出たため、お祝い一杯飲んだ。これからも、何か良いことがあった時に飲む特別なお酒として、大事にとっておきたい。



筑波大生の中で「学費」と呼ばれている噴水(9月9日、第二エリアで)



筑波大！ キャンパス ことば

「学費」が今日も湧いているなあ。筑波大生はしばしば噴水をからかって「学費」と呼ぶ。一般的な学費で勉強するのに必要な費用。授業料・教科書代など(明鏡国語辞典第2版)とは用法が大きく異なる。国から配分される運営費交付金が減少傾向にあるなど、大学を取り巻く環境は年々厳しくなっている。だが、噴水は大学の経費を使い、水を噴き出している。

【社会学3年・男性】 政治学に関する本を購入した。大金が手元にあったことで、普段よりも思い切って買い物ができた。

【社会学3年・男性】 新型コロナウイルスの影響で家にいる時間が増えたので、新しいことを始めたいと思いい、ディスクジョッキー(DJ)コントローラーを買った。DJに興味を持ってたきっかけは、去年初めて参加したクラブイベントだ。今はクラブに直接集まることはできないが、オンラインのイベントが増えたので、自宅で趣味を楽しめている。

【社会学4年・男性】 希望する企業から内定が出たら飲むと、6万円を出た。8月下旬に無事内定が出たため、お祝い一杯飲んだ。これからも、何か良いことがあった時に飲む特別なお酒として、大事にとっておきたい。

これを批判的に捉えた者が新たな用法を生み、学生の間で広まったのだらう。施設部によると、噴水は1978年度に完成したものだ。景観向上のほか、薬や苔の発生や堆積を抑え、池の水を循環させる目的があり、年間1877時間運転している。電気料金は年間6万5000円。水は別の用途で使われたものを処理して再利用する。「学費の無駄遣い」と批判されがちだが、意外と経費はかかっておらず、効用もあるようだ。(西村大祐 人文学類3年、写真も)

「筑波大！ キャンパスことば」では同辞典に収録するキャンパス言葉の一部を写真や解説とともに紹介しています。 随時掲載

ポストコロナ 新しいつくば

②大学教育編

新型コロナウイルスは大学教育にも大きな影響を及ぼした。キャンパスへの立ち入りが制限されたため、コロナ前までは珍しかった「オンライン授業」が当たり前になった。大学図書館も休館となり、レポートの作成や勉強会の開催、自主学習などが難しくなった。コロナで浮き彫りとなった大学教育の課題は何か。ポストコロナの大学教育は、どう変わるのか。オンライン授業は続けるべきなのか。大学教育の行方を追った。(西村大祐・木村誠) 人文文学類、北川瑠菜、比較文化学類、後藤佳怡、社会学類、遠子内早紀(教育学類)



蒲島 郁夫 熊本県知事

かばしま・いくお 1947年熊本県生まれ。高校卒業後、地元農協に就職。68年農業研修生として渡米。79年ハーバード大大学院修了。筑波大社会学系教授、東京大教授などを経て2008年から現職(4期目)。東京大名誉教授。

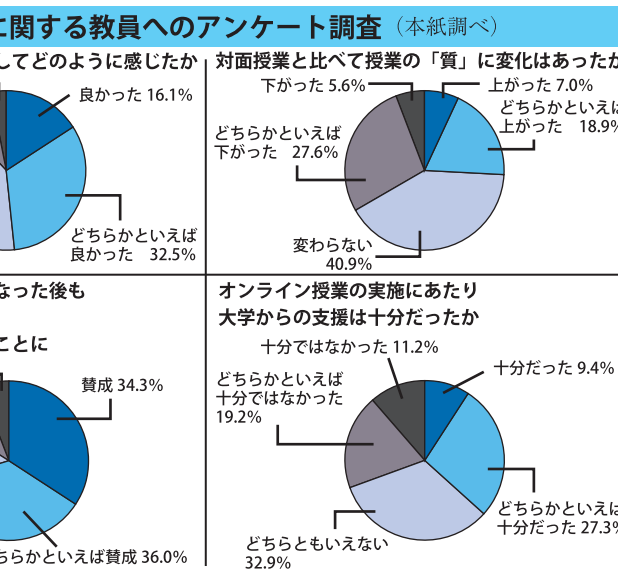
「ゼミ」で参加型の授業を重視していた。また、飲み会などでのゼミ生との懇談では、教員と学生が本音で話し合うことができた。学生はもちろんだが、教員の私も探究心向上や人間としての大きな成長につながる貴重な場になった。そういった意味で、大学の役割を考えた時、オンライン授業だけを考えた時、オンライン授業だけでは足りない。オンライン授業は、対面での議論を進めるべきだと思う。

オンラインと対面のベストミックス

秋入学の導入には官民挙げて社会の変革が必要だ。秋入学は海外の優秀な学生を呼び込み、日本から海外の大学に進学するきっかけとなる。政府においてメリットや課題を含めた議論を進めるべきだと思う。

熊本県では4年前の地震からの復興のため、県出身の尾田栄一郎さんの漫画「ワンピース」と連携した復興企画に取り組んでいる。私も実際に原作を読んで、主人公ルフィが持つ「無限の可能性」と「友情」に共感した。現在の熊本は、地震、コロナ、豪雨災害のトリプルパンチに見舞われ、まさに逆境の中にある。私もルフィと同じ無限の可能性を持って、この逆境を必ず乗り越えようとの決意で業務に当たっている。

「教育再生実行会議」教育再生可能性のあるから。教育再生実行会議は、オンライン授業やグローバル化などについて、これまでとは違う大胆な発想でポストコロナの新たな学びの在り方を議論できるといいます。コロナ禍の学生へのメッセージを私のモットーである「逆境こそ夢がある」ことを伝えたい。このような逆境の時だからこそ、「新しい首相、文科相など有識者計25人を迎える」と前向きで構成される。



電子資料提供は以前からの課題

大学図書館は教育と研究の支援機能を持つ、大学に無くしてはならない知識基盤だ。コロナは大学図書館にも影響を与えた。感染拡大で多くの大学図書館が臨時休館になり、再開後も滞在時間や閲覧座席数などの利用制限が続く。ポストコロナの大学図書館はどうあるべきなのか。

「教育支援機能」失われ

文科省は大学図書館を「大学の教育研究にとって不可欠な中核を成し、総合的な機能を担う機関」と位置づけている。教育機能を支える大学図書館のサービスは、複数人で会話できるコミュニティ・スペースや蔵書検索や電子書籍の閲覧ができるパソコン・タブレット・アドバイザーによる学習相談などだ。また、国内外の資料収集や、外部の図書館から文献を取り寄せるサービスなどは、教育と研究の支援機能を担うものだ。阿部豊・筑波大附属図書館長によると、コロナで大きな打撃を受けたのは、教育支援機能を担うサービスだという。同館では、資料の提供は再開したが、ラウンジやセミナー室などが閉鎖された。また、グループ学習や課外活動をするために学生が盛んに利用してきた場所だ。

国の政策は

対面実施を要請

文科省は7月、全国の大学に向けて後期(秋季)と来年度の授業形態について通知した。感染状況や受講者数、教育効果などを考慮し、実施が適切な場合はできる限りの対面授業を実施することを求めている。同省の担当者は、学生と教員や学生同士が対面でコミュニケーションを取ることで得られるものの重要性を踏まえたという。秋生田光一文科相は7月の記者会見で「オンライン授業は有用性も指摘されているが、安易に流れるべきではない。大学は工夫をしながら、対面とオンラインのハイブリッドに取り組んでもらいたい」と語った。

問われるオンラインの質

同省の中央教育審議会では、ポストコロナの大学教育の在り方を検討している。このうち、大学分科会の下に置かれた「質保証システム部会」では、オンライン授業の教育の「質」をどのように保証するかの議論が始まっている。

「連携開設科目」のイメージ

(文科省の資料から作成)

文科省は来年度、連携する他大学で取得した単位を、自らの大学の卒業に必要な単位に変換できる制度を導入する予定だ。オンライン授業にも適用されるため、地理的に離れた大学の授業でも、自大学の授業として受講できるようにする。

教員アンケート オンライン授業 半数「良い」

筑波大が春学期に実施したオンライン授業について、教員への影響や教員の意見・対応を探るため、本紙は9月7～11日、無作為抽出した教員1000人を対象にアンケートを実施し、286人から有効回答を得た。

オンライン授業を実施してどのように感じたかを聞いた質問に対し、48.6% (139人) が「良かった」「どちらかといえば良かった」と答えた。「悪かった」「どちらかといえば悪かった」は11.9% (34人)、「どちらともいえない」が39.5% (113人) だった。

対面授業ができる状況・環境になった後も授業形態の一つとしてオンライン授業を行うことに「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えたのは70.3% (201人) で、「反対」「どちらかといえば反対」の16.1% (46人) を大きく上回った。

オンライン授業の良かった点を聞いたところ、「コロナの感染拡大を防ぐことができた」が63.3% (181人)、「学生が時間に縛られずに受講できた」が59.8% (171人)、「学生が講義を繰り返し見ることができた」が58.4% (167人) などとなった。

一方でオンライン授業の悪かった点は、66.4% (190人) が「学生とのコミュニケーションが難しかった」、66.1% (189人) が「授業の準備に時間がかかった」、49.3% (141人) が「習得度の把握が難しかった」を挙げた。

対面授業と比べて授業の「質」に変化があったかを尋ねたところ、「変わらない」が40.9% (117人) と最も多く、次いで「下がった」「どちらかといえば下がった」が33.2% (95人) だった。

対面授業に比べ、教員の負担量は81.1% (232人) が「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答した。オンライン授業を実施する際の大学からの支援については、「十分だった」「どちらかといえば十分だった」が36.7% (105人)、「十分ではなかった」「どちらかといえば十分ではなかった」が30.4% (87人) だった。「どちらともいえない」は32.9% (94人) だった。

同部会の会議で大学側からは、オンライン授業の普及に合わせ、大学設置基準の見直しを求める意見が上がった。具体的には▽原則60単位まで定められているオンライン授業による取得単位数の上限緩和▽卒業に必要な授業は自大学で開講しなければならぬ原則の見直し▽校地・校舎の面積などの基準見直しなどだ。同部会は年度内をめどに論点を整理する方針だという。

政府の教育再生実行会議も「ポストコロナ期における新たな学び」をテーマに議論を始めていく。このうち大学教育では、対面卒業に必要な授業は原則として自大学で開設すると、大学設置基準で決められている。新制度では、複数の大学が共同で一般社団法人を設立し、文科相の認定を受ける。「連携開設科目」が設置できる。卒業に必要な単位のうち、原則30単位まで他大学の授業で取得できるようにする。

文科相の認定を受けるための審査は近く始まる予定で、早ければ来年4月から同科目が開講できる見込みだ。

専門家に聞く



金子元久 特命教授

日本の大学教育を長年研究し、「高等教育研究の第一人者」とも評される金子元久特命教授(大学研究センター)に、コロナ禍での大学の対応や今後の大学教育の展望について聞いた。(聞き手・遠子内早紀)

発生時の対応想定を

実験や実技など一部の授業は対面で行われているが、コロナ収束の見通しが立たず、対面授業を今後、どの程度の規模で実施できるか分からない。対面授業の実施をまだ決めていない大学も多い。

授業は残るだろう。一方で、対面授業のやり方にも大きな変化が起これるのではないかと。ウェブ上の資料を使用したり、他大学で行っている授業をオンラインで受けられるようになるかもしれない。

保てなくなることもある。感染防止のためにはオンライン授業にならざるを得ない。小規模の対面授業でも、コロナが収束しなければ、以前の授業方法に完全に戻ることはできないだろう。

求められる連携 阿部館長は「大学図書館の電子資料の利用と提供は以前から大きなテーマだった」と語る。電子ジャーナルの契約を増やし、蔵書検索システムを高度化させたりしてきたという。

電子ジャーナルの提供 阿部館長は「コロナで社会が大きく変わりつつある今、大学図書館が教育と研究の支援機能を維持・向上する上では、他大学の図書館や地域社会と連携した取り組みが必要だ」と話した。

電子ジャーナルの活用 阿部館長は「電子書籍化されていない図書を古い資料を学習・研究に使う場合も多い」と指摘する。

かねこもとこ 1950年生まれ。シカゴ大学大学院修士。ニューヨーク州立大学バニー校客員助教授、広島大助教授、東京大教授などを経て2012年より現職。東京大名誉教授、中央教育審議会専門委員、日本学術会議委員、日本高等教育学会会長を務める。

Hello! 先端研究

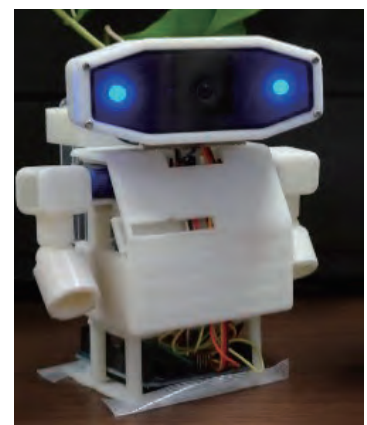


田中文英准教授

少子高齢化が進み、独りで暮らす高齢者の社会的孤立をどう防げかが課題となっている。悩み事を一人で抱え込まず、誰かに打ち明ける自己開示は、有効な予防手段だ。田中文英准教授(シス情系)らの研究グループは、対話型ロボットによる仲介が高齢者の自己開示に有効だと確認し、ロボットがどんな性格なら対話が進みやすいかを明らかにした。高齢

高齢者の孤立防ぐ ロボットが話し相手に

のギャップを埋め、コミュニケーションの円滑化や自己開示の促進を図りたいと考えた。研究グループはまず、21人の高齢者(平均年齢72歳)を対象に2種類のロボットを使い、電話で話す場合とロボットが仲介して人と話す場合と



実験で使われたロボットの一つ=筑波大提供

の設計に重要な指針が10種類以上明らかになった。例えば、内向的で感情が不安定な高齢者と健康に関する話題を話す際には、ロボットは反対に外交的で穏やかな性格にした方がよいという。

オンライン授業は続く

授業方法大きく変化

手紙

求められる連携

電子ジャーナルの活用

電子ジャーナルの提供

ポストコロナでも、オンライン

利用者の性格に合わせるべきだと考えられてきた。だが、今回の研究で話の内容や高齢者の性格によって、むしろ逆にロボットの性格をマッチさせたい方が好ましいことが明らかになった。

だが、オンライン授業は対面授業と方法が大きく変わった。教員は授業で話す内容をより計画立てて決めるようになり、授業後は学生の理解度を確認するための課題を出すようになった。

だが、オンライン授業は対面授業と方法が大きく変わった。教員は授業で話す内容をより計画立てて決めるようになり、授業後は学生の理解度を確認するための課題を出すようになった。

だが、オンライン授業は対面授業と方法が大きく変わった。教員は授業で話す内容をより計画立てて決めるようになり、授業後は学生の理解度を確認するための課題を出すようになった。

だが、オンライン授業は対面授業と方法が大きく変わった。教員は授業で話す内容をより計画立てて決めるようになり、授業後は学生の理解度を確認するための課題を出すようになった。

利用者の性格に合わせるべきだと考えられてきた。だが、今回の研究で話の内容や高齢者の性格によって、むしろ逆にロボットの性格をマッチさせたい方が好ましいことが明らかになった。

企業が高齢者向けの対話型ロボットや人工知能(AI)を開発する際に役立つ成果だ。今後は、高齢者の言葉を家族側に伝えるロボットの在り方についても研究を進める予定だ。言葉

学生の授業の受け方も変わった。学生はかなりの勉強するようにしたのではないかと。外出自粛で遊べなかったことも一因だが、授業方法の変化は大きく影響しているだろう。

大学経営・政策研究センターが昨年11月、国内77大学154学部の専任教員を対象に実施した調査では、1コマの授業に対して学生が授業外でどれだけ勉強しているかを考えていなかった大学教員が約3割いた。

だが、オンライン授業は対面授業と方法が大きく変わった。教員は授業で話す内容をより計画立てて決めるようになり、授業後は学生の理解度を確認するための課題を出すようになった。

自分の山を登ることに集中

生懸命登っている。私は、自分の山を登ることに集中すればいい。目の前の作品に真剣に打ち込むうちに、自分に受賞できるわけがないという「常識」を忘れていました。



9月17日に刊行された松本清張賞受賞作「震雷の人」

作家 千葉ともこさん

困難な状況に直面すると、夢が大きければ大きいほど苦しい。今もし夢を持ってあなたが大きな苦難の中にいるのだとしたら「大学の卒業生にヤンキーがいたな」と思い出してみてください。もしよかったですら、このヤンキーを心に置いてみませんか。かつての私のように心身を壊すほどの無理をしてはいけません。今を乗り切れるように、または、ちょっとだけ踏み張れるように、応援いたします。(平成12年度日本語・日本文化学類卒、写真はいずれも文藝春秋提供)

日本インカレ 3年連続 女子総合優勝



3回目の試技で1.75mの跳躍に成功した浅井＝陸上競技部提供

日本学生対校選手権(日本インカレ)が9月11〜13日、デンカビッグスワンスタジアム(新潟市)で行われた。無観客の開催となった大会で筑波大女子は、走高跳で浅井さくら(体専4年)が初優勝するなど好記録が相次ぎ、3年連続の総合優勝を果たした。女子フィールドの部でも優勝した。また、筑波大は男女合計で17種目18人が入賞した。(大和祐葉)

浅井 悲願の初優勝

陸上 部員全員で活動ができた期間が長く、例年と異なる状況でも筑波大の女子は強さを発揮した。女子走高跳で優勝した浅井の記録は1.78m。初めの1.65mをパスし、次の1.70mを2回目で、1.75mを3回目でクリアすると、優勝記録となった。浅井は「一回で成功させた。浅井は「一週間中は陸上生が一番難しい期間だった」というが、自身の跳躍について「無観客開催」で応援に来られなかった部員に自分の活躍を届けたいという思いで、競技を楽しむことができた」と振り返った。

また、三段跳の山下桐子(同3年)円盤投の半田水晶(体育P1年)ハンマー



ベンチに集まる選手ら＝女子ハンドボール部提供

終始リード譲らず白星発進 今年度初の公式戦 秋季リーグ

ハンドボール

8大学で争う関東学生秋季リーグ戦が、9月13日から行われている。筑波大女子は13日、日本女子体育大(東京都世田谷区)でリーグ初戦を迎え、早稲田大と対戦した。素早い攻守の切り替えやキーパー宝田希緒(体専3年)の好守で終始リードを保ったまま、27-18で勝利した。

の後も筑波大は細かくパスをつなぎながらシュートを狙い、マークを外さないディフェンスで粘り強くゴールを守った。また、平野宗香(同2年)がふわりと浮かせたシュートを決めると、巧みな展開で得点を重ね、前半を12-8で終えた。

スポーツの顔

「また日本一を目指したい」

愛知県出身。野球を始めたのは小学4年生の時。当時から大きかった体格を見込まれ、投手と野手の動きを束ねる捕手の面白さを初めて自覚した。

野球

1年生ながら、正捕手として3、4年生とバッテリーを組む。身長189cm、体重85kg。がっちりとした体格を生かした素早いスローイングとしぶといバッティングが持ち味だ。だが、強みはそれだけではない。



捕手としてセンバツ優勝に貢献 成沢 巧馬 (体専1年)

監督の持病が悪化し、部員が練習メニューを考えた。成沢は「自分」として活躍した。しかし、2年時の秋の明治神宮大会は初戦で敗退。大会後に監督の持病が悪化し、部員が練習メニューを考えた。

eスポーツ

eスポーツのサッカー大会を7月18、19日に筑波大スポーツセンター(SIRC)で開催された。観望に、コロナ禍で苦しむ

チャリティーマッチ開催 心拍数など分析も

学生支援を呼びかけるチャリティーマッチで、筑波大生8人が参加した。eスポーツ参加者の気分の高揚状態などを調べ、今後の教育に生かすため、SIRCの研究者が選手の心拍数の計測や唾液の採取をした。

心拍数は事前に測定器を選手に配り、オンラインで計測した。唾液採取キットも事前に選手に届けてあり、回収して分析中だ。松井助教は「eスポーツへの参加は、実際に運動したかのような生理反応を引き出す。通常のスポーツイベントなどの代替策として有用である可能性が初めて確認できた」と説明する。

硬式野球部は8月から活動を再開し、9月3日のオンライン戦でサヨナラヒットを打った。筑波大の投手陣にとって頼もしい女房役が現れた。(田所涼川教育学科3年 写真本人提供)

コロナ禍で始まった大学生活 1年生の現状を追う!

課外活動

【資源1年・女性】
自然が好きでワンダーフォーゲルクラブに入った。だが、感染防止のため活動の見通しが立たない。現在は本で勉強するなど、自主練習に励んでいる。まだ会えていない1年生や先輩と活動がしたい。

【社工1年・女性】
パフォーマンスをする文化系サークルに5月に仮入部した。週に2回、オンラインでストレッチや雑談をする機会があり、時々参加している。だが、対面でない練習の雰囲気やメンバーの人柄が分かりにくく、正式入部するかどうか決めかねている。

【社会学1年・男性】
大学で本格的に馬術を始めたいと思っていたが、活動ができず悔しい。対面での練習はしばらくできないと考え、内ももの筋肉を毎日10分間鍛える自主トレーニングを1カ月前から始めた。入部時期が遅れることで、馬術大会への出場機会や、大会での成績に悪影響が出るのではないかと心配している。

【社工1年・男性】
サークルのオンライン新歓は一部のメンバーの話しか聞けず、活動内容がつかみにくい。秋学期は興味があるサークルの対面形式の新歓に参加し、全体の雰囲気を理解した上で入部したい。

【教育1年・男性】
春学期は実家で過ごしたため、友人との交流はツイッターやLINEが中心だった。外見を知らなくてもコミュニケーションが取れる分、内面を重視した交流ができたと感じる。だが、つくばにいる人同士が遊んでいることを知ると、うらやましくてつらかった。

【生物1年・女性】
春学期は実家で過ごしたので、新しい友人が1人もできていない。友人と一緒に授業について話し、理解を深めたかった。秋学期もオンラインでの実施が決まった授業が多く、友人ができるか不安だ。

交友関係

【資源1年・女性】
当初は実家暮らしで、1人で課題や授業に追われる日々だったため、孤独だった。オンラインで友人作りやサークル活動をしたが、会話に参加しづらいなどデメリットが大きかった。7月中旬からつくばで1人暮らしを始めた。時間の制約もなく、友人ともすぐに会うことができ、楽しいことばかりだ。

私生活

【人文1年・男性】
春学期は、つくばへの引っ越しを延期して実家で過ごした。地元の自動車学校に通うことができた。当初は夏休みの免許合宿に参加するつもりだったが、慣れた道で教習が受けられたのでよかった。

【知識1年・女性】
秋学期の授業は全てオンラインに統一してほしい。自宅から通学予定で、混雑する電車に乗ることに抵抗がある。自分が感染し、家族に移すことも怖い。一部を対面授業にすることで、学内が混雑してしまうのではないかと心配だ。

【心理1年・女性】
一つ一つの授業に時間をかけて向き合いたかったが、課題をこなすことで一杯だった。学びたかったはずの内容でも、モチベーションが維持できなかった。課題を機械的にこなすだけの週末はもう嫌だ。

学業

【看護1年・女性】
オンライン授業は、自分の都合の良い時間に視聴できたり繰り返し再生できたりと良い点があった。一方、実家に自分の部屋がなく、集中して授業を受けられる場所を確保するのに苦労した。また、授業担当の教員から、動画の録画時間の関係で、発展的な内容などを割愛してしまったと聞き、残念に思った。

【資源1年・男性】
高校3年生の時から興味があったタイ・カセサート大への留学をあきらめかけている。東南アジアの農業について学びたいので、オンラインで留学を体験できる機会があれば参加したい。

【資源1年・女性】
大学院を修了するまでに留学したいと思っている。先行きが不透明で不安だったが、留学の募集が一部再開し、希望を持てた。秋学期は時間の融通が利くオンライン授業の特性を生かし、英検やTOEFLの勉強にも力を入れたい。実のある準備期間にしたい。

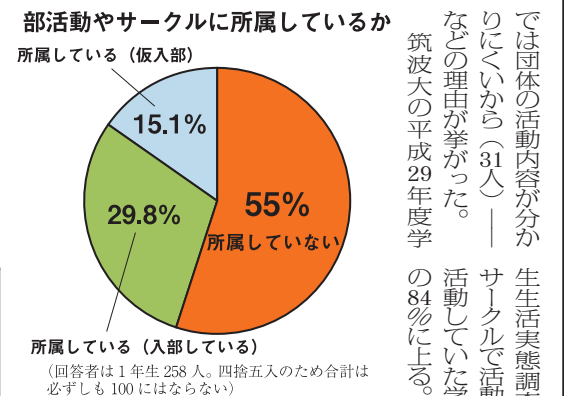
【比文1年・男性】
実家にいたため、慣れないオンライン授業の中、家事をせずに済んだのは助かった。だが、祖母を自宅で介護しているので、両親がいない時は授業動画を止めて介護を手伝うこともあり、正直しんどかった。

【心理1年・女性】
8月下旬に天久保のアパートに入居する予定だったが、同地域でクラスターが発生したため引っ越しを見送った。つくばにいる友人と直接会いたかったので残念だ。現在引っ越しのめどは立っておらず、途方に暮れている。

留学

【教育1年・女性】
北欧に留学し、教育制度やジェンダー論について学びたい。だが、新型コロナウイルスの影響で見通しが立たない状態だ。今は留学制度の情報収集など、できることを進めている。自身がオンラインに順応できておらず、オンライン留学はハードルが高いと感じている。

部活動・サークル 6割所属せず
実態調査では、課外活動に参加できず、友人作りにも悩む1年生の姿が浮かん



では団体の活動内容が分かりにくいから(31人)——などの理由が挙がった。筑波大の平成29年度学

孤立が生む新たな悩み

オンライン授業では、分らないことを教員に気軽に聞きにくい。また、休みの時間の雑談もなく、十分に友人とコミュニケーションを取れないことから、不安や悩みを一人で抱えてしま

また、慶野助教は「コロナ禍は非常事態で、不安に

う学生が多いという。秋学期からは一部で対面授業も始まるが、杉江教授は新たな問題が生じる可能性がある」と心配している。

同級生と親しくなる機会が少ない中、1年生の多くはSNSを活用し

だが、春学期に大学は1年生の交流の場を特に設けなかった。フレッシュマン・セミナーなどでオンライン交流会が開かれたクラスもあるが、それも一部に過ぎない。

記者の目

友人と一緒に道に迷いながら教室へ移動したり、松美池のベンチでたわいもない話をしたり。今思えば、また大学に慣れない1年生の頃の自分にとって、気軽に話せる友人が隣にいたことは大きな支えだった。

(北川瑠菜)



春学期授業 舞台裏を追う

学年暦変更やオンライン化 タスクフォースが議論主導

筑波大の新型コロナウイルス感染症への対応

- 1月 29日 | 新型コロナウイルス感染症リスク対応チーム発足
- 2月 28日 | 課外活動団体にイベント・集会・合宿などの2週間の中止・延期を要請
- 3月 10日 | 代表者のみでの卒業式・学位記授与式実施を発表
- 12日 | 2020年度の入学式中止決定。課外活動の自粛期間を春学期授業開始日まで延長
- 13日 | 課外活動団体会議が所属する全団体への新入生歓迎活動の全面的な自粛を要請
- 18日 | 全学生に対し渡航禁止を、渡航者には帰国を要請
- 27日 | **20年度の学年暦改正を発表 春学期授業開始は4月27日に**
- 4月 1日 | 学生宿舎への一斉入居中止を発表
- 3日 | 文化系サークル会館や体育系サークル会館、開学記念館など課外活動施設への立ち入りを禁止
- 9日 | 佐藤副学長(学生担当)が課外活動の全面自粛を要請
- 4月 17日 | **茨城県に「緊急事態宣言」発令(4月16日~5月14日)**
- 21日 | 政府の緊急事態宣言の対象地域拡大を受け、授業はオンラインのみとし、学生の入構は原則禁止とすることを通知
- 27日 | 附属図書館全館休館 **春学期のオンライン授業開始**
- 5月 15日 | 緊急事態宣言を受けた対応の当面継続を通知
- 6月 1日 | 筑波大学説明会をオンライン開催に変更
- 5日 | レポート負担配慮や授業時間短縮などを要請
- 19日 | **条件付きで入構が可能に**
- 7月 17日 | 2021年度入試の新型コロナを受けた措置を発表
- 22日 | 条件付きで課外活動の再開が可能に
- 29日 | 筑波大学学園祭(雙峰祭)の中止を発表
- 8月 7日 | **秋学期授業の一部を対面で実施すると発表**
- 26日 | 学術情報メディアセンターサテライト端末室再開
- 9月 1日 | 「本学の活動形態の変更について」発表
- 9日 | 附属図書館の開館時間延長を発表

(筑波大の資料などから作成)

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、春学期の開設授業が全てオンラインとなった筑波大。開学以来初の事態に大学側はどのように対応したのだろうか。コロナ禍のオンライン授業の舞台裏に全2回で迫る。

(西村大祐、北川瑠菜、後藤佳伶)

未曾有の事態 対応に追われ

新学期を目前に控えた3月、国内の感染が急増する中で、筑波大も迅速に対応できる体制を整える必要に迫られた。教育担当副学長や学務担当副学長、教務マネジメント室長などが緊急集まり、3月16日に発足したのが「新学期対応タスクフォース」だ。

タスクフォースが教育に関する大学全体の議論を主導した。3月27日には、筑波大のウェブサイトで授業開始日を4月8日から同27日に遅らせることが発表された。4月1日には、春学期の授業をオンラインで実施すると発表。教職員はオンライン授業の準備に追われることになった。

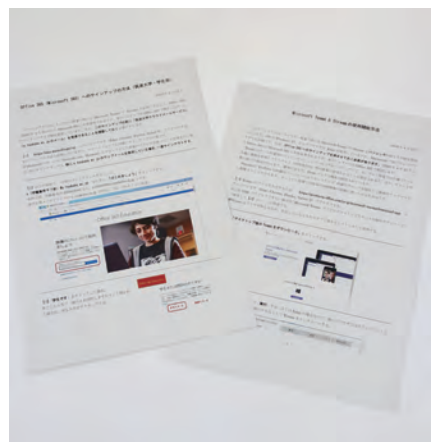
5月中旬に全学学類・専門学群代表者会議(全学全)が実施したアンケート調査では、オンライン授業で多くの課題が出され、土曜授業で休みが減ったことで学生が疲弊している現状が明らかになった。

学生の声を受け改善

お盆期間前までにCモジュールの授業を終わらせようという目標を掲げ、7月6日から学習管理システム「manaba」でオンライン授業に関する学修状況の調査を実施した。調査結果に基づいて秋学期以降のオンライン授業の改善点を検討することが目的だ。

学類超え連携

4月上旬、学類や大学院の学位プログラムなどの教育組織では、一部の教員がオンライン授業支援を担当することになった。担当教員は「オンライン授業対応チーム」の一員として、所属組織を超えて情報を共有した。



土井助教が作成したマニュアル(9月25日、本紙編集室で) = 後藤佳伶撮影

これを助け、清水副学長は6月5日、各教育組織や教職員などに対し、例年の対面授業時と比較してレポート課題を出しすぎないことや授業時間の厳守、動画時間の短縮を求めた。また、8月にはこれまでのオンライン授業を振り返るため、教職員向けの研修会が開かれた。約300人が参加し、好事例の紹介や春学期の課題の共有が行われた。参加者からは、オンライン授業実施の要点を指針にまとめてほしいという声も上がった。

6~9月に分散入居 学生宿舎 感染対策講じ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止された4月の学生宿舎一斉入居に代わり、6~9月の間に計8回の入居日が設けられた。9月18日時点で580人が入居し、9月末の入居には74人が申し込んだ。宿舎には、4月の一斉入居で1412人が入居予定だったが、来日できない留学生や入居を辞退した学生など531人を除く881人の入居が予定されている。



入居手続きの説明を受ける1年生(8月28日、平砂学生宿舎共用棟で) = 車谷郁実撮影

うち、74%が秋学期開始までに入居する予定だ。大学への入構規制が6月19日に解除されたことを受け、実習や実験などが再開しつつある。学生生活課は入居予定者が各自の授業に間に合うよう、各月に入居日を設定した。設定日に入居できない学生には個別に対応した。当日は入居者の集中を避けるため、建物ごとに受付時間を指定した。列に並ぶ際は間隔を空けるよう指示するなど、職員や入居者同士の接触がなるべく少なくなるよう配慮した。建物の入り口では入居者に検温を実施し、感染防止に努めた。例年は、学生が事前に送った荷物を、大学が委託した運送業者が取りまとめ、一斉入居の日に入居者の部屋に運び込んでいた。今年も、一斉入居中止が決まった4月1日時点で、この枝垂れ桜は筑波大の前身の東京教育大から移植されたものだが、そもそもこのルートは京都にある。園芸学の専門家だった故藤井利重・東京教育大名誉教授が、東京文理科大(東京教育大の更に前身)に赴任したことが、関東に枝垂れ桜がやってきたきっかけだ。

大学の歴史見守った枝垂れ桜 京都にルーツ 伐採惜しむ声

本部棟南の枝垂れ桜が8月29日に伐採された。木を腐らすキノコなどの影響で衰え、倒木の恐れがあったからだ。大学の歴史を見つめてきたシンボルツリーの喪失を惜しむ声が、卒業生らから寄せられている。だが、この枝垂れ桜から接ぎ木をした2本の後継樹が筑波キャンパス内の筑波実験林に現存しており、今後はその子孫の苗木を育成して学内に移植する予定だ。(後藤佳伶、12面に関連写真)

だが、木の80%が既に枯れていることが17年に判明した。倒木の危険性もあるため、今年3月に伐採することが決まった。

伐採されたのは樹齢約80年と推定されるベニシダレ。衰退する前の2000年代初めまでは、毎年春に鮮やかなピンク色の花を満開のように咲かせていた。春は定番の写真撮影スポットになっており、卒業や入学の記念写真を撮る学生が多かった。学長や副学長など大学役員や、新しく赴任した教職員の写真撮影場所にもなった。だが、2007年の樹木

医による調査で、ベッコウダケというキノコが木の内部を腐らせていたことが分かった。また、桜や梅などを枯らすコスカシバという害虫の被害も受けていた。施設部は、後継樹を残すために接ぎ木をし、支柱の設置や、薬剤の塗布、肥料散布などを行った。その後、衰弱が進む枝垂れ桜を守るべく、学内の専門家を中心に「枝垂れ桜復活プロジェクト」が立ち上がった。



開学30年の2003年に記念写真を撮る筑波大役員 = 筑波大広報室提供。左から、理事室長は「東京文理科大時代から今に至るまで筑波大の歩みを見守ってきた枝垂れ桜が無くなるのは惜しい。筑波大生には、枝垂れ桜の来歴から、自分の学校の歴史を感じてほしい」と話した。

京都大に在籍経験のある藤井氏は、京都で代々庭師を務める第15代佐藤藤右衛門氏(故人)と親交があった。国内の桜の保全活動を「桜守」として有名人物だった。藤井氏は赴任の際に佐藤氏から枝垂れ桜の苗木を譲り受けた。苗木は東京文理科大附属保谷農場の正門に植えられた。そして1975年、筑波大の開学記念樹の一つとして移植された。茗溪会長の江田昌佑理事は「東京文理科大時代から今に至るまで筑波大の歩みを見守ってきた枝垂れ桜が無くなるのは惜しい。筑波大生には、枝垂れ桜の来歴から、自分の学校の歴史を感じてほしい」と話した。

Who's Who?

「MdNデザイナーズファイル」に学生では初の掲載

岡本 太玖斗 さん (芸専4年)



湖畔に佇む岡本さん=本人提供

学生でありながら、グラフィックデザイナーとして活動する。作品やプロフィールが今年2月、著者佐藤デザイン年鑑MdNデザイナーズファイルの20年版で紹介された。学生の掲載は初の快挙だ。

今年度の筑波大入学案内の表紙や昨年5月に平砂学生宿舎で行われた「平砂アートムーブメント」のポスターなど、学内でその作品を目にする機会は多い。

小学2年の時、ユニクロのロゴを手掛けた佐藤可士和さんの特集を雑誌で読み、グラフィックデザインという分野を知った。それからは、身近にある食品や家電などさまざまなテーマにポスターやロゴ作りを熱中するようになった。

だが、大学で芸術系へ進学するつもりはなかった。分野にとられない視点をも身に付けたいと考え、教養系の学部を狙っていたからだ。しかし、うまく行

他分野の授業から幅広い視点 「人の意識変えるデザインを」



岡本さんの作品「#willpower」=本人提供

作品を作る上で意識しているのは「わずかな毒を盛ることだ。象徴的な作品の一つが、芸専の「構成特別演習作品展 S anagi」(昨年12月開催)のポスターだ。

「単に消費を促すのではなく、人の意識を変えられる社会性のあるデザインを制作することが目標」だ。これからは、彼の作品から目が離せない。

グローバルゲストハウス開所



開所式のテープカットに参加する永田学長(中央)(9月1日、春日エリアで)=田所涼撮影

3面へ

アートギャラリーT+ 再開



ギャラリーをショーウィンドーに見立てた「新しい日常の窓」(9月9日、体芸エリアで)=西村大祐撮影

5面へ

枝垂れ桜伐採



枝垂れ桜の枝を切断する作業担当者(8月29日、本部棟南で)=山田優芽撮影

11面へ

宿舎入居 分散で実施



宿舎入居の受付前に検温が行われた(8月27日、一の矢学生宿舎共用棟で)=工藤和哉撮影

11面へ

学内総合

学芸

学生生活

学生生活

編集後記

部活動によっては大会の再開が見送れない状況が続いています。その影響もあり、

編集・発行

■筑波大学新聞編集委員会
▽委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学
▽副委員長 佐藤勲(学生部長) 委員 菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学(竹中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学)

■筑波大学新聞編集部
▽編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
▽編集長 西村大祐(人文社会学系3年) 副編集長 後藤佳怡(社会学系3年) 加藤優花(国際総合学系3年) ほか編集部員21人

次号は
11月6日(金)
発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 ヒラマ写真製版